

第8回つくば市未来構想等審議会 専門部会議事要旨

日 時 : 令和元年10月18日(金)、21日(火)  
 場 所 : つくば市役所5階 庁議室  
 出席者 : つくば市未来構想等審議会委員A班10名  
 つくば市未来構想等審議会委員B班12名  
 事務局5名

未来構想キャラバンの開催報告

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
1-1	P42 研究者を対象としたつくば市内研究機関に在住・在勤の方向けのキャラバンに参加された研究機関、及び役職について伺いたい。	■ 1回目に開催された研究者向けキャラバンは、総会及び理事会にて開催されたため、企業内の上層部の方を対象とした。2回目に開催されたキャラバンは、役職等にこだわりなく、研究機関に在勤する方で参加応募された方を対象とした。

I-1 市民共創によるまちづくりを推進する について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
2-1	P15 について地域交流センターの中の取り組みを想定して記載されたか。	□キャラバン開催時に「たまり場」に対する意見が多かったため、民間企業との連携を想定して記載している。(毛塚副市長)
2-2	P16 について、つくば市の地域コミュニティ施策について、区会以外にどのようなものをイメージしているのか。	—
2-3	旧村の行事をなくさないために、新規の住民に対し援助して取り入れる等、地域コミュニティに関する取り組みを役場が行わなければならないと思う。	—
2-4	P15 プロジェクトの相談窓口について、地区相談センターを維持することを想定しているのか。 地域交流センターの中に「たまり場」との機能を取り入れ、相談しやすい環境を作ってほしい。	□今ある地区相談センターも残す。「チャレンジ」という部分については、市の新しい取り組みとして、市民相談窓口以外に窓口を設けることを想定している。(毛塚副市長)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
2-5	P17 市民参加の推進の部分で、満足度に関するアンケート結果を、指標として扱わず、他の指標を再度検討してほしい。	□市民参加の取り組みは、始まってまもない活動であり、現状値として採用できるものが今のところまだないため、「意見を言うことができた」と回答した数を指標として扱っている。(WT)
2-6	P17 指標を満足度としてしまうと、主観的な評価であるため、個人の意見に左右されやすくなる。キャラバン等、公共で行政に対して意見を述べる場の参加人数や、開催回数等、定量的な指標を採用すると良いと思う。	—
2-7	市民委員の参加数や、意見の反映数等、定量的な指標を作ることができると思う。12 班の基本施策は多岐にわたるため、指標を含め、主要プロジェクトについて再度検討してほしい。	—
2-8	指標の中で、設定の根拠についてどのように採用しているのか、設定の目標値はどのように設定しているのか。	□中間評価を毎年行っているが、今回採用した指標は、新しいものが多いため、状況に応じて随時見直すことが想定される。指標設定の工夫について再度検討したいと思う。(毛塚副市長)

## I-2 資源を活用し、魅力あふれるまちをつくる について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
3-1	つくば市の中の観光資源をどのように活かしたいかという考えはあるか。	□例えば筑波山は体験型観光回遊性について評価をしたいと考えている。(WT)
3-2	科学技術を観光という観点で活かす活動を行っているのか。	□修学旅行の一環で、サイエンスツアー等の取り組みを実施している。(WT)
3-3	高校生の修学旅行の訪問先として CYBERDYNE と JAXA が組まれている例が複数あり、科学技術に触れる機会を増やすには同様のことが重要であると考えている。	—
3-4	個別の施策の現状について、ジオパークや夜景認定に関する文言を記載してほしい。	■他の班と内容を調整する。

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
3-5	旅行者の目的に合わせてつくば市への宿泊を促す取り組みを行う必要があると思う。	—
3-6	市民に対し、ジオパーク認定や日本夜景遺産認定について周知されていない現状があるため、PR活動が重要であると捉えている。	□主要プロジェクトの中でジオパーク認定及び、日本夜景遺産認定に関する文言を記載する。(WT)
3-7	つくばエキスポセンターは、過去文部科学省所管の施設であったが、今回の未来構想でつくば市との連携事業として検討してみてもどうか。	□現在、公益財団法人が運営している状況であり、前向きにつくば市との連携を図りたいと思う。(政策イノベーション部長) □つくば駅周辺で科学技術に触れられる場所を検討したいと思うため、つくばエキスポセンターに関する記述を未来構想の中で検討したいと思う。(毛塚副市長)
3-8	P21に限らず一般論として、既存の主要PJを継続するか否かの判断をこの審議会に求められているとすれば、これまでの成果等プロジェクトを評価するための材料が必要であるが、それがこの審議会には与えられておらず、判断のしようがない。そのような評価は別のところでされているのか。	■主要PJについては目的を果たすものとして位置付けている。評価については毎年行政評価を行っている。
3-9	既存のプロジェクトが多い印象である。	—
3-10	P29 今後5年以内に建設される予定の施設があれば、それらの施設に関する記述を検討したほうが良いと思う。	□P30 PJ4に記載しているところである。(WT)
3-11	P30 「空き家」という内容が浮いているように見える。空き家のみならず、民間の遊休資産については検討の対象外となるのか。	□空き家は個人所有のものと定義づけており、空き店舗等についても対象とする。(WT)
3-12	P23「地酒(日本酒等を含む)」という表記は「日本酒」と変えて良いのではないか。	■いただいたご意見を基に修正を検討する。
3-13	P23 指標について、母数は1000市町村のアンケートで間違いはないか。また、現在設定している目標とは別に高い目標を検討したらどうか。	□後日担当課から返答する。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
3-14	P27 文化芸術の振興という観点で、教育委員会の方で予算をとってもらい、校外学習等の場で地元の子供たちに演劇、音楽等を鑑賞する機会を与えてほしい。	—
3-15	P26 指標 1 の満足度について再度検討してほしい。	—

### I-3 つくばならではの街並みや体験に出会えるまちの創出 について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
4-1	ソフトの内容を入れたことで、他の施策と内容が被るのではないか。	□ソフトに限ったことではなく、総合的なまちづくりの内容を記載している。(WT) □中心市街地の活発な活動を意図して、科学技術に関する文言を記載している。(毛塚副市長)
4-2	東西南北大通りを対象とした中心市街地の取り組みを検討しているのか。	□未来構想のなかではそのように位置付けている。(WT)
4-3	中心市街地として位置づける場所を再検討してほしい。	—
4-4	中心地区の不動産は街づくりには重要。エリア全体の取り組みを今一度見直してほしい。TX のつくば駅、研究学園駅から連続的に展開される場づくりを推進してほしい。	—
4-5	P33「パブリックスペースを活用した街の魅力向上」について、公共空間のなかで、勉強や休憩を目的として集まり、賑わう空間があると良いと思った。	—
4-6	土浦の図書館を見本とした、賑わう公共空間があると良いと思う。	—
4-7	P36 駅前に無料利用の駐車場を提供できれば、中心市街地の賑わいを創出することができると思う。	—

#### I-4 シティプロモーションの推進 について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
5-1	つくば市の魅力を一言で表現してほしい。	□一人一人が自分の時間を持って、各々が思う、生活を送ることが出来るまちであると思う。(WT)
5-2	つくば市を一言で表現するのは難しいかもしれないが、未来を先取りした科学技術等が実際に活用されている街としてアピールできるようにすべきかと。	—
5-3	つくば市に住んでいる私たちがつくば市を誇りに思うことはまた別の話だと思う。新しい地域の学校が不足していること、科学技術に期待してみどりのに住み始めたのに、生活が不便と感じている人がいるという問題が起きている。	—
5-4	良質な教育を理由に、つくば市への移住を決める方が増えている。小中学生の教育に力を入れていくとよいと思う。	□愛着という指標を伸ばす取り組みを今後検討してほしい。(部会長)

#### II-1 地域での支え合いやつながりの推進と医療、介護、福祉の充実したまちを目指す について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
6-1	全体を通して、英語表記を日本語表記にする必要があるのではないかと。また、専門的な用語が頻繁に使用されているため、注釈を用いることはできないか検討してほしい。 P41以降については、人とのつながりが希薄になっていると感じさせる表現が使われており、地域コーディネーターの養成を政策の一つとしてあげる必要があるのではないかと。	<p>■英語等の横文字表記に関しては、極力使用しない方向で修正を行う。使用が避けられない箇所に関しては、注釈を使用することを検討する。</p> <p>□注釈を使用する際は、当該ページの下に記載することを検討してほしい。(委員)</p> <p>□現在、民生委員や区長を中心として生活支援体制整備事業を行い、生活支援コーディネーターを設置している。その方を中心として勉強会を実施し、地域の支え合いを作っていく予定である。(WT)</p>
6-2	民生委員や区長にはそれぞれ役割があるため、地域の支え合いを作ることに専念してくれる方を養成する必要があるのではないかと。	□勉強会等を通して広めていく。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
6-3	新住民が増加傾向にある状況を踏まえ、そのような人たちが属することが可能なコミュニティを作る必要があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 検討します。(WT)
6-4	地域リーダーは有償になるのか、ボランティアが前提になるのかについてお聞かせ願いたい。	<input type="checkbox"/> 現在のところ有償は想定していないが、ボランティアポイントの活用等は視野に入れている。(WT)
6-5	人手不足の現状を踏まえるとシニアの方の参加が必要ではないか。 また、シニアの方の参加を促すためには有償にすべきではないか。	<input type="checkbox"/> 貴重なご意見ありがとうございます。(部会長)
6-6	民生委員の方には肩書欲しさの方がおり、会合においてもまともな意見が得られないことがある。そのような現状を踏まえ、地域リーダーは有償にする必要があるのではないか。	—
6-7	つくば市のモデル都市の一つであるアメリカのポートランドでは、ネイバーフットアソシエーションという組織を作っている。どのような人たちで構成されているのか参考にしてほしい。	—
6-8	荃崎では、会議に出席した人には少額ではあるが交通費を渡すことで出席率が上がったといった実績もあるため参考にしてほしいか。	<input type="checkbox"/> 様々な先進的な例があるので、いいシステムを取り入れてほしい。(部会長)

## Ⅱ-2 人生100年時代に生涯いきいきと暮らせるまちを目指す について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
7-1	社会参加の環境整備の指標としての生涯学習センターの参加者の増加をあげているが、社会参加という意味では生涯学習センターだけではなく多岐にわたるのではないか。市民意識調査での項目を参考にすべきではないか。	<input type="checkbox"/> 検討します。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
7-2	今回新しく追加した生涯にわたる学びの場の提供に関して、アピールする箇所を増やすべきである。生涯学習推進課と連携して進めてほしい。	□検討します。(WT)
7-3	会社に勤めている若者の多くは買ったものを食べており、会社や企業販売にアプローチする仕組み作りを行う必要があるのではないか。	□検討します。(WT)

### II-3 地域や市民一人ひとりの備えを後押しするまち について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
8-1	台風 19 号による被害状況を教えてほしい。	□避難所を 15 か所開設、避難者総数は約 900 人であった。また、床下浸水が数か所、ペット同行可能な避難所を 2 か所開設、道路の灌水による通行止めが数か所、街路樹の倒木が 30 か所以上であった。また、防災無線が聞こえないといった意見も得られており、災害時における情報伝達の実環境づくりが今後の課題である。(飯野副市長)
8-2	非常時に配信される緊急メールに記載されていた避難場所が、日ごろ訓練を行っている場所ではなかった。そのような現状を踏まえ、未来構想においては常に現実対比を行い、我々の生活に直接影響のある活動を行ってほしい。	—
8-3	ジョギングパトロール事業を主要プロジェクトから外したのは指標を立てにくいからか。	□効果を測ることが難しいためであるが、継続的に続けていく予定である。(WT)
8-4	ジョギングパトロールが開始された経緯や他市町村における実績を考えると、ジョギングパトロールは効果的であると思うため記載の検討をしてほしい。 台風 19 号の被害により、避難所の選定見直しや検討の改善が行われることが考えられるので計画の中に記載すべきではないか。	□台風の状況を踏まえ、項目の追加を検討する。また、ジョギングパトロールについても指標の記載は難しいが掲載を検討する。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
8-5	ジョギングパトロールについて、ビブスの配布数で把握することは可能であるか。	<input type="checkbox"/> 配布数と実際の使用数との整合を図ることが難しい。(WT)
8-6	ジョギングパトロールは効果的であると思うため延べ人数だけでも記載を検討してほしい。	—
8-7	P56 市の備蓄の推進において掲げている目標は志が低いのではないか。避難の質を高めるような指標を表せるのではないか。P55 の全体の施策の指標について、防犯の面で犯罪件数等を用いることは難しいのか。	<input type="checkbox"/> 犯罪・自転車盗難の認知件数は把握しており、減少傾向にあるが可能である。(WT)
8-8	犯罪は減少傾向にあったとしても、さらなる減少を目指すといった意欲的な数字指標でもよいのではないか。検討してほしい。	—
8-9	つくば市の避難所はすべて学校施設であるため、地域との連携による学校防災力強化推進事業について、関連担当課のところに教育委員会の名称を記載すべきである。	—
8-10	防犯灯の設置について、計画通りに進めている認識でよいか。	<input type="checkbox"/> 計画的に進めている。(WT)
8-11	設置の必要箇所が増えているのではないか。	<input type="checkbox"/> すでに目標数は設置済みであり、今後8年で2200機程度設置予定である。(WT) <input type="checkbox"/> 指標に記載しなくとも、方向性のみ記載してほしい。(委員)

#### II-4 公共施設やインフラのマネジメントを推進する について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
9-1	公園等の整備に関して公共施設を集約させるが充実させていくという概念が浸透していないと感じ、整備が追いついておらず利用されていない現状を踏まえると、4班が取り込もうとしている公共施設を集約させるがその分充実させていくといった考え方と整合性を持たせるような形にしていくべきではないか。	<input type="checkbox"/> 他の班においてもインフラの話は出てきており、まずは計画づくりをきちんと進めていかないといけないと思っているため担当チームに意識の浸透を図っていく。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
9-2	バリアフリー、ユニバーサルデザイン、ネーミングライツといった極めてわかりにくい表現が多いので、日本語に変更可能な部分に変更し、出来ない所は注釈を入れるべきであることを改めてお願いしたい。	<input type="checkbox"/> 変更する。(WT)
9-3	理想と現実の違いが一番大きく出る部分であると思っているため、状況を市民の方にしっかり見える化を図っていくことが重要であると思う。 P60 指標 1 について、5 年間で状況の更なる悪化が予想されるが、この数字がマックスであるのか。	<input type="checkbox"/> 今年度中に個別計画を作成することが求められているが、個別計画を進めるにあたり全体的な方針が定まっていないことが現状である。そのため、とにかく数多くて利用者が多い所として 10 という数字を挙げているが 10 でいいわけではないのでさらなる検討を行う。(WT)
9-4	期限が定められている計画については、作るということで精査する必要があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 検討する。(WT)
9-5	公共施設の集約について、現状を見ると集約、複合化の指針を作る事に重きを置いており、その後についての記載が薄いと感じる。廃校等は集約化しても残る可能性があるため意識して述べるべきではないか。	<input type="checkbox"/> 検討する。(WT)
9-6	つくば市の財政事情については市民の方はほとんど知らないため、公共施設の集約は大変であるということを市民に伝わるような方策をプロジェクトとして考える必要があるのではないか。策定した計画が反対され潰れる可能性があるのではないか。	<input type="checkbox"/> 市民との合意形成は必要であると思うため、市民への情報公開・周知を図っていく。また、つくば市は公共施設白書を毎年作っており、HP等に掲載し市の更新にかかる費用の詳細について記載してある。方法が足りないというご指摘もあるためもう少し検討したい。(WT)
9-7	市民理解の獲得に向け、公共施設やインフラマネジメントを進めるといったことをプロジェクトとして記載することは可能であるのか。	<input type="checkbox"/> 細かい話になってしまうと他の計画とのバランスを考え設定する必要があるが、重要だとは考えている。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
9-8	市民との合意ができず計画が進んでいない自治体が増えている状況の中で、集約するというだけでなく、これから限られた財源の中で施設を拡充しなければいけない部分、縮小しなければいけない部分を真剣に考える必要がある。詳しい内容は載っているとしても、一般の人達には理解できる内容ではないため、どうわかりやすくかいつまんで見せていくのかということが自治体の市民に理解してもらうというものの本気度であり、ここが自治体の大きな課題であると思う。	—

## II-5 身近な自然を守り、楽しみ、持続させていくまち について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
10-1	筑波山は年々きれいになっているが、お手洗いはきれいとは言い難く、商店街も元気がない状態である。	□お手洗いは観光推進課と協力し、今後きれいにすべきであると考え。また、商店街については認定商品の作成による付加価値を持たせ、発展を図っていく。(WT)
10-2	P70 個別施策の取組みについて、「わからない」と回答する人に焦点を当てているが、主要プロジェクトにおいては、すでに行っている人を対象にしているものが多い印象がある。	□現在、調整中であり、プロジェクトに合った指標として再検討する必要があると考え。 ①の施策を推進することで、結果的に「わからない」と回答する人が減るのではないかと考えている。(WT)
10-3	子どもや中学生高校生が環境活動へ参加するための時間を作ってあげる必要がある。夏休み等を利用した仕組み作りを行わなければならないのではないかと。	□検討する。(WT)
10-4	市民意識調査のアンケート項目の内容について教えていただきたい。	■平成29年度に実施した市民意識調査においては、現在の戦略プラン、個別施策について聞いており、その中のひとつとして自然環境や資源の保全活用について5つの選択肢で満足度を測っている。

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
10-5	保全活動の参加率や、普段の生活の中でつくば市の自然環境を守るような行動をしているか等の具体的な指標した方がいいのではないかと。また、実際に現地を訪れることでより自然を身近に感じることができるので、指標については再検討してほしい。	—
10-6	筑波山において、探検をベースにした取組にも必要になってくるのではないかと。牛久沼について、記載がないため1・2か所程触れる必要がある。	—
10-7	指標を変えるのであれば、「わからない」と回答する人の割合を低くするのではなく、「満足」に着目し、これを上げるような指標にする考えもあるのではないかと。	—
10-8	市民意識調査の設問をもっとシンプルにする必要があるのではないかと。	■検討する。

### Ⅲ-1 子どもも親も楽しく育つ環境をつくる について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
11-1	「育てにくさ」について、何をもち「育てにくさ」と感じるのか教えてほしい。	□1才半・3才検診の際に同じ質問を行っており、そのひとつの指標としてこの表現を用いている。(WT)
11-2	子育てに不安を持つ親の割合を減らすということではないのか。	□「子育てに不安を感じることがありますか」といった設問では、子育て自体が誰もが不安を感じてしまうものであるため、育てにくさと記載している。全国一律の質問であるので、表現は変えることはできない。(WT)
11-3	P73「気になる親子」について、具体的に記載する必要があるのではないかと。	□書き方を変更する。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
11-4	子どもとは小学校に入っていない子どもを対象にしているのか。	□6 班では未就学児を対象としている。(WT)
11-5	P75 オープンスペースという言葉が 2 か所使っているが、開放的な空間、誰もが自由に立入り活用できる空間等の日本語で具体的に表現可能であるか検討して頂きたい。	□検討する。(WT)
11-6	P72 指標の選定理由について、よりわかりやすい文章への変更を検討してほしい。	—
11-7	子育てに不安を感じたときに対処できる親の割合を増加させることは、整合性が取れなくなる等の理由で不可能であるのか。	■WT と調整し、表現方法について検討する。
11-8	P74 指標として、待機児童の減少を指標としなかった理由を教えてください。	□総人口・待機児童数がともに増加傾向にあるため、施設を増やしたとしても減少する割合が低くなることが予想される。そのため、充実を感じて頂ける方の割合に着目した。(WT) □悪くなる可能性があるからこそきちんと目標を立てるべきだと思うため、再考してほしい。(委員)
11-9	P75 公園の建設及び再整備について、数値目標を記載する等、もう少し具体的な表現にしてほしい。1 班の世代や分野を超えた地域の居場所づくりの拡充というこの項目と一致すると思うので、一体化して進めてほしい。	□書き方と 1 班との話を詰めさせていただきたい。
11-10	P75 児童館、交流センター、公園など書いてあるが、学校は入れなくてよいのか。放課後居場所づくりの授業を教育局でやっていたと認識している。	□放課後居場所づくりに関しては次の 7 班で加えており、6 班では学童保育について記載している。(WT)
11-11	両方の班で記載できないのか。	■検討する。

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
11-12	プレイパークという言葉を使っているがもっと踏み込んで「冒険遊び場」という言葉にしたかどうかという提案をしたがこれは却下されたのか。再検討してほしい。	<input type="checkbox"/> 理解が容易な表現やかっこ書きを付ける等でもよいので検討してほしい。(部会長) <input type="checkbox"/> 検討する。(WT)

### Ⅲ-2 じぶんの「好き」が見つかる環境をつくる について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
12-1	「Society5.0時代に活躍する児童生徒の育成」について、Society5.0という社会では人と人とのつながりが希薄になることが予想されるため、未来構想及び教育大綱の趣旨と相反すると思うので全面的に削除してほしい。	■今後WTと調整を行い、全面的な見直しを検討する。
12-2	保育所に行っている子ども達はほぼ全員がそのまま学童クラブに行く可能性が高いため、待機児童数を出すことはできないのか。出すことが可能であるならば指標の数値を変更する必要がある。	<input type="checkbox"/> 計算方法について担当課に確認する。(WT)
12-3	待機児童について、クラブ数ではなく定員数で表現すべきではないのか。	<input type="checkbox"/> 確認する。(WT)
12-4	「違う価値観を持った子供が集まる魅力あふれる施設」に関する記載がないため、方針の中で児童クラブ以外の部分について触れるべきではないのか。また、「保育所における学びの充実」については、保育所に限った話であるのか。	<input type="checkbox"/> 保育所だけではなく、幼稚園、小学校、その他施設も関係しているため、現在調整中である。(WT)
12-5	保育所だけにしても公立と私立があるため対象が曖昧である。また、この世代は、「学び」が「遊び」であったりする為、表現を工夫すべきではないか。	—

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
12-6	Ⅲ-2-①②については再検討すべきであり、③は就学前の子どもは遊びを通して習得して学ぶという事だと思うので「学び」という表現を工夫すべきである。また④について、魅力ある放課後の創出という表現は難しい内容だと言葉的に思うので検討してほしい。	■今後、教育局とワーキングを開き検討する。
12-7	保育所で働く職員や児童クラブで子どもの保護にあたるスタッフ等の子どもに日々関わる人達の専門性を高めること等も重要である。指標の中に研修や現場の人材育成に関する視点も入れる必要があるのではないか。	□工夫して反映してほしい。(部会長)
12-8	イタリアのレッジョ・エミリア幼児教育は世界的に注目されている。その職員たちがどういうつもりで勉強しているかについてももっと勉強していただきたい。教育大綱の中で幼児教育についてはレッジョ・エミリア方式の導入を検討してもいいのではないか。 また、P79 個別施策の現状「しかし、保護者からは英語や算数などの早期教育を希望する声があります」とあるが、これはあまり関係ないので、削除してはどうか。	□検討する。(WT)

### Ⅲ-3 多様性をいかした誰もが活躍できる社会をつくる について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
13-1	外国人住民数を増加させるということだが、つくばにおいて外国人の方がどういった理由で来ているかという特徴は掴んでいるのか。	□具体的に数字として持っているわけではないが、これまでの対応の中で研究職の方と留学生が圧倒的に多いと感じている。統計上ではどういった理由で来ているのかまでは測れていないが、つくば市が住みやすいという一定の判断ができるのではないかと考えている。(WT)

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
13-2	外国人住民数を増加させるにあたり、外国人が安心して居住できる具体的手助けが必要ではないか。 性的マイノリティについて、セミナー等を通して啓蒙していくことは大事だが、中学生の制服については非常にハードルが高いため、制服の自由化といった施策が必要ではないか。また、市に提出する書類において、男女記載が特段その内容に必要な場合は男女の記載をしないといった必要があるのではないか。	■外国人の数については、この後WTと相談し単純に数ではなく質に関するものに見直したい。居住に関することも参考にしながら調整したい。
13-3	変更するという事で期待しているが、住む事に焦点がいており、つくば市に来た時に居やすい環境に対する本質的問題を表す指標にすべきではないか。検討してほしい。	—
13-4	個別施策では在留外国人について、指標では男女共同参画について触れているため、ハンディキャップピープル、在留外国人との相互理解といったハンデを持った人達との交流等を指標の中に入れることは出来ないか。	□指標について、今後検討する。障害に特化したものがよいかどうか分からないが記載してある個別施策の現状やその方向性に沿ったものをもう一つ追加するという認識で良ければ検討する。(WT)
13-5	指標 2 住民数の増加を記載すべきではないか。日本人の市民と在留外国人との相互理解は重要であると思うため検討してほしい。	—

#### IV-1 知識集約による社会イノベーションが生まれるまち について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
14-1	P86、87「基本施策IV-1 知識集約による社会イノベーションが生まれるまち」に紐づく、2つの個別施策の違いは何か。	□P86の個別施策は、幅広く市内事業者の取り組みを受け付けるというものである。P87の個別施策は、具体的な取り組みに対する支援について記載している。(WT)
14-2	P86 PJ1「未来共創プロジェクトの実施」というタイトルだけでは内容がわかりにくいので再考の余地がある。	—

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
14-3	P90 助成金、交付金の付与等担い手農家に対して具体的な支援についてどのようにお考えか。空き家等の活用等について検討するのか。	□国、市の方の補助金を活用すること想定している。(WT)
14-4	農業就業者に対する支援について、予算はどれくらいを想定しているか。	□新規就農者の補助金は生活費、準備費用を目的としたものであり、1人約150万与えられる。(WT)
14-5	各分野に関する予算措置の計画を、戦略的に考える必要がある。例えば、少子高齢化への対応技術改革、次世代農業革命、Society5.0の推進等、今後の社会変革への取り組みプランについて、今回の未来構想改訂をきっかけに広く検討してほしい。	■つくば市未来構想は、市の政策の全体の方針を示している状況であり、具体的な内容については個別計画で補完するような体系としている。戦略プランの中である程度想定される事業の方針を掲載する必要があると考えている。
14-6	新規農業者に対する補助金は、事業者側として1人を雇った場合に対して付与されるものか。	□個人事業主向けの補助金である。(WT)
14-7	国の予算の中で、新規就農者向けの補助金は廃止されたのではないか。	□国の補助金制度は残っているため、活用したいと考えている。(WT)
14-8	ハイテクを導入した次世代農業に対し、科学技術導入に最適な土地があったとしても、用途規制の点から、実現しないことがある。用途変更をはじめ、土地利用規制の緩和について、市が県等に協議すること等も含め、段階的に取り組みを進めていく必要がある。	□就農者のみならず、産業基盤の観点で、農業の新規分野を検討することは重要であると捉えている。総合計画の中で、農業の展開について文言を加筆することは必要であると思われる。(部会長)
14-9	住民税、固定資産税を市の判断で大幅に削減するなどすれば、スタートアップ企業の集積推進につながるインセンティブになる。企業側からは、つくばに行けばよい環境があると思われるので有効である。大胆な取り組みをしてほしい。	—

#### IV-3 市民のために新技術等の導入を促進する について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
15-1	P97 指標 1 マイナンバーカードの交付率について、60%と控えめな目標値が与えられているが、90%と高くしたらどうか。	□3年後、国の施策上では、保険証を一体化したマイナンバーカードの普及率の目標を100%としている。 ただ、交付する場所や人員の確保を考慮して、控えめな数値を設定した。現状の普及率については改めて確認を行う。(WT)
15-2	つくば市はスマートシティ構想にも選ばれており、今後ロボットの活用を推し進める状況である。ただ、ロボットの歩道上の歩行は、現行の法律に抵触する可能性があるため、市の中で、ロボットの導入に関するルールを検討し、活用を図ってほしい。	□「国の働きかけによる」等をといた文言を入れ込み、ロボット導入について公民連携の内容の記載を未来構想の中で検討したいと思う。またモビリティについては法的整理による解決が図られている。 (毛塚副市長)
15-3	つくば市の障害者トイレマップについて、組織の中で情報共有を図ってほしい。	□障害者のためのマップは最近インターネット上に公表した。(毛塚副市長)
15-4	P94 指標 1 で定性的評価である市民意識調査の結果が指標として扱われているため、定量的な指標について検討の余地があると思われる。	□市民ニーズの充実という部分で、市民意識調査を採用させていただいたが定量的な指標を再度検討する。(WT) □指標 2 つ設ける等、複数設ける等、定量的な指標を検討する。(毛塚副市長)
15-5	P94 人に焦点を当てたまちづくりとしたため、「IoT」というモノのインターネットではなく、「IoH/IoT」というヒトとモノのインターネットというキーワードにすべきかと。	—
15-6	P100 自転車レーンの整備について、本当に生活の中で役に立っているのかわかりかねる。	□自転車レーンの整備は県と市と検討することとなる。歩行者と自転車との死亡事故が起きている背景もあるため、安全推進協議会の中でも自転車レーンの推進がされている。場所に応じた自転車レーンの設置を検討したいと思う。(WT)

IV-4 地球にやさしく「ごみ」のない低炭素で循環型のまちをつくる について

No.	意見内容	回答 ■事務局 □その他
16-1	P103 指標 1 いばらき食べきり協力店は飲食店のみを対象とした活動であるか。	□食品ロスの低減を目指すことを目的とする、飲食店の取り組みであるため、指標には飲食店のみが対象となる。(WT)
16-2	P103 食品の産業廃棄物の数値の把握はしているのか。	□産業廃棄物の中の食品の廃棄については、事業系のごみに含まれているため、正確な数値はわかりかねる。(WT)
16-3	P107 指標 1 の低炭素の満足度について、市民意識調査で扱っているが、アンケート対象者は回答をしづらいと思う。排出している CO <sub>2</sub> の量等定量的な指標に検討したらどうか。	□現況「わからない」という回答が多い中で、PR に関する取り組みの効果を示すため、市民意識調査結果を指標として提案している。(WT)
16-4	炉に入れるごみの量を減らすことを検討していただきたい。学校や介護施設から出る生ごみを分別して動物に食べさせるという取組を検討してはどうか。	—
16-5	家庭用のごみは分別をしづらいが、事業用のごみを肥料に再利用する取り組みは行われているのか。	—
16-6	セブン - イレブンジャパンは、ごみを分別し、炭水化物を豚に食べさせるなど、食品リサイクルの取り組みが行われている。	—
16-7	食材の再資源化を未来構想に盛り込むことを検討してほしい。	—
16-8	P101 低炭素化について、CO <sub>2</sub> の削減等を目標に掲げてもらえるとうい。	—

以上